

2025年3月期 第1四半期決算説明資料



【 目 次 】

1. 損益の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	1
	(2) 第四北越銀行 単体	2
2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	3
	(2) 第四北越銀行 単体	3
3. 有価証券の評価損益 (繰延ヘッジ考慮後)	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	4
	(2) 第四北越銀行 単体	4
4. 預金等、貸出金残高	第四北越銀行 単体	4
5. 投資信託・公共債等預かり資産残高	第四北越銀行 単体	5

- (注) 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 前年同期比、2023年6月末比欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
3. 自己資本比率につきましては、現在算出中につき、確定次第開示致します。

1. 損益の状況

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

○連結粗利益は、前年同期比34億円増益の302億円となりました。
 その他業務利益は16億円減益となりましたが、資金利益は47億円、役員取引等利益は3億円それぞれ増益となりました。

○経常利益は、前年同期比14億円増益の147億円となりました。
 株式等関係損益は27億円減少しましたが、連結粗利益の増益に加え、営業経費は1億円、貸倒償却引当費用は1億円それぞれ減少しました。

○親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比1億円減益の107億円となりました。
 特別損益は、前年同期に子会社再編による負ののれん発生益等14億円を特別利益に計上したことを主因に10億円減少しました。
 なお、負ののれん発生益等を除く親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比13億円増益となりました。

(単位:百万円)

		2025年3月期		2024年3月期	(参考) 2024年3月期
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	
連結粗利益	1	30,279	3,432	26,847	97,189
資金利益	2	21,151	4,729	16,422	64,268
役員取引等利益	3	5,840	351	5,489	25,407
その他業務利益	4	3,287	△1,649	4,936	7,514
営業経費(△)	5	15,946	△183	16,129	63,338
貸倒償却引当費用(△)	6	1,323	△102	1,425	7,246
貸出金償却(△)	7	76	△873	949	3,094
個別貸倒引当金繰入額(△)	8	1,048	508	540	2,903
一般貸倒引当金繰入額(△)	9	△41	278	△319	371
延滞債権等売却損(△)	10	0	0	—	212
その他(△)	11	240	△15	255	665
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—	—
償却債権取立益	13	333	197	136	752
株式等関係損益	14	645	△2,730	3,375	2,502
その他	15	787	242	545	1,010
経常利益	【200億円】16	14,776	1,426	13,350	30,868
特別損益	17	324	△1,098	1,422	△1,110
うち固定資産処分損益	18	344	323	21	△302
うち負ののれん発生益	19	—	△1,343	1,343	1,343
うち段階取得に係る差益	20	—	△109	109	109
税金等調整前四半期(当期)純利益	21	15,101	328	14,773	29,758
法人税、住民税及び事業税(△)	22	2,852	304	2,548	9,198
法人税等調整額(△)	23	1,497	148	1,349	△644
四半期(当期)純利益	24	10,751	△124	10,875	21,204
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は四半期(当期)純損失(△)	25	0	0	△0	1
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益【142億円】	26	10,751	△124	10,875	21,203
除く負ののれん発生益等 26-19-20	27	10,751	1,328	9,423	19,751

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用))

+ (役員取引等収益 + 信託報酬 - 役員取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 【 】は2025年3月期第2四半期予想値(2024年7月26日修正公表値)

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	28	13,856	2,854	11,002	33,342
--------	----	--------	-------	--------	--------

(注) 連結業務純益 = 第四北越銀行業務純益 + その他の会社の業務純益 + 関連会社業務純益 × 持分 - 内部取引

(2) 第四北越銀行 単体

○コア業務粗利益は、前年同期比58億円増益の273億円となりました。

- ・資金利益は、外貨調達コストが市場金利の上昇により増加した一方、貸出金利息が貸出金平残の増加および貸出金利回りの上昇により増加したほか、有価証券利息配当金が利回り上昇および投資信託解約損益により増加したことを主因に、資金利益全体では前年同期比45億円増益の209億円となりました。
- ・役務取引等利益は、資産運用アドバイス収益が保険窓口販売などにより増加したことを主因に前年同期比2億円増益の33億円となりました。
- ・その他業務利益（除く国債等債券損益）は、お客さまの為替変動リスクを回避する効果のあるデリバティブ取引の増加などを主因に前年同期比10億円増益の30億円となりました。

○コア業務純益は、前年同期比56億円増益の123億円となりました。

- ・経費は、人件費を中心に1億円増加しました。

○経常利益は、前年同期比16億円増益の134億円となりました。

- ・ネット信用コストは4億円減少しましたが、国債等債券損益は26億円、株式等関係損益は26億円それぞれ減少しました。

○四半期純利益は、前年同期比14億円増益の98億円となりました。

(単位:百万円)

		2025年3月期		2024年3月期	(参考) 2024年3月期
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	
業務粗利益	1	27,089	3,225	23,864	85,251
(コア業務粗利益)	2	(27,312)	(5,831)	(21,481)	(90,926)
資金利益	3	20,901	4,592	16,309	64,011
うち投資信託解約損益	4	2,657	2,657	—	1,066
役務取引等利益	5	3,389	202	3,187	15,653
その他業務利益	6	2,798	△1,569	4,367	5,586
うち国債等債券損益	7	△222	△2,605	2,383	△5,674
経費（除く臨時処理分）(△)	8	14,938	152	14,786	57,753
うち人件費(△)	9	7,581	197	7,384	30,094
うち物件費(△)	10	6,398	125	6,273	24,066
実質業務純益	11	12,151	3,074	9,077	27,498
(コア業務純益) 【183億円】	12	(12,374)	(5,680)	(6,694)	(33,172)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	13	(9,716)	(3,022)	(6,694)	(32,105)
一般貸倒引当金繰入額(△)①	14	△50	△50	—	261
業務純益	15	12,202	3,125	9,077	27,236
臨時損益	16	1,297	△1,497	2,794	△1,818
うち不良債権処理額(△)②	17	871	△333	1,204	6,253
(貸倒償却引当費用①+②)(△)	18	(821)	(△383)	(1,204)	(6,514)
うち貸倒引当金戻入益	19	—	△101	101	—
うち偶発損失引当金戻入益	20	81	△49	130	—
うち償却債権取立益	21	332	197	135	746
うち株式等関係損益	22	543	△2,684	3,227	2,744
経常利益 【171億円】	23	13,499	1,627	11,872	25,417
特別損益	24	326	357	△31	△2,634
うち固定資産処分損益	25	344	322	22	△294
うち減損損失(△)	26	18	△35	53	1,262
税引前四半期(当期)純利益	27	13,826	1,985	11,841	22,783
法人税、住民税及び事業税(△)	28	2,474	377	2,097	7,260
法人税等調整額(△)	29	1,493	155	1,338	△539
四半期(当期)純利益 【123億円】	30	9,858	1,453	8,405	16,062

(参考)

ネット信用コスト(△) 14+17-19-20-21	31	406	△431	837	5,767
----------------------------	----	-----	------	-----	-------

- (注) 1. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益
 2. 実質業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）
 3. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費（除く臨時処理分）
 4. 【 】は2025年3月期第2四半期予想値（2024年7月26日修正公表値）

2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

○不良債権額は、第四北越フィナンシャルグループ連結で前年同期比32億円減少し1,204億円、第四北越銀行単体で前年同期比34億円減少し1,192億円となりました。
 ○不良債権比率は、第四北越フィナンシャルグループ連結で前年同期比0.10ポイント低下の2.18%、第四北越銀行単体で前年同期比0.11ポイント低下の2.14%となりました。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:億円)

(参考) (単位:億円)

	2024年6月末	2023年6月末比	2023年6月末	2024年3月末
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	66	△ 4	70
危険債権	1,087	△ 33	1,120	1,114
要管理債権	50	5	45	50
三月以上延滞債権額	10	3	7	9
貸出条件緩和債権額	39	2	37	41
小計 (A)	1,204	△ 32	1,236	1,248
正常債権	54,004	1,191	52,813	54,274
債権額合計 (B)	55,208	1,158	54,050	55,523
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.18%	△ 0.10%	2.28%	2.24%

(2) 第四北越銀行 単体

(単位:億円)

(参考) (単位:億円)

	2024年6月末	2023年6月末比	2023年6月末	2024年3月末
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	55	△ 5	60
危険債権	1,086	△ 33	1,119	1,112
要管理債権	50	5	45	50
三月以上延滞債権額	10	3	7	9
貸出条件緩和債権額	39	2	37	41
小計 (A)	1,192	△ 34	1,226	1,238
正常債権	54,288	1,231	53,057	54,531
債権額合計 (B)	55,480	1,197	54,283	55,770
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.14%	△ 0.11%	2.25%	2.22%

3. 有価証券の評価損益(繰延ヘッジ考慮後)

○好調な株式市況を背景に、株式の評価損益が改善したことから、第四北越フィナンシャルグループ連結での有価証券の評価損益は337億円の含み益、第四北越銀行単体での有価証券の評価損益は325億円の含み益となりました。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

	2024年6月末				2023年6月末				2024年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益		
		評価益	評価損			評価益	評価損			評価益	評価損	
満期保有目的	1,376	△13	—	13	456	5	6	0	1,230	1	3	1
その他有価証券	28,173	351	1,905	1,554	27,238	△52	946	999	29,387	598	1,801	1,203
株式	2,154	1,084	1,087	3	1,583	609	624	14	2,172	1,103	1,106	3
債券※	14,116	△446	133	580	14,413	△163	45	208	14,321	△282	94	377
その他	11,902	△285	684	969	11,241	△498	276	775	12,893	△223	599	822
うち外国証券※	7,573	△292	462	755	6,810	△360	179	540	7,119	△224	372	597
合計 (繰延ヘッジ考慮後)	29,550	337	1,905	1,567	27,695	△46	952	999	30,617	599	1,804	1,204

(2) 第四北越銀行 単体

	2024年6月末				2023年6月末				2024年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益		
		評価益	評価損			評価益	評価損			評価益	評価損	
満期保有目的	1,376	△13	—	13	456	5	6	0	1,230	1	3	1
その他有価証券	27,986	338	1,893	1,554	27,087	△12	977	989	29,190	576	1,780	1,203
株式	1,967	1,067	1,070	2	1,433	636	643	6	1,975	1,077	1,079	2
債券※	14,116	△440	134	575	14,413	△148	52	201	14,321	△276	96	372
その他	11,902	△287	688	976	11,240	△499	281	781	12,893	△225	604	829
うち外国証券※	7,573	△293	462	756	6,810	△360	179	540	7,119	△225	372	598
合計 (繰延ヘッジ考慮後)	29,362	325	1,893	1,568	27,543	△6	983	990	30,421	577	1,783	1,205

※債券及び外国証券については、時価変動リスクを低減する目的で金利スワップによる繰延ヘッジを行っており、評価損益は繰延ヘッジ考慮後の計数を記載しております。

4. 預金等、貸出金残高

第四北越銀行 単体

○貸出金の期末残高は、前年同期比1,410億円増加し、5兆4,296億円となりました。
 ・事業性貸出は、県内は実質無利子融資の繰り上げ返済を主因に減少しましたが、県外は大企業向けや新種貸出等が増加したことなどから、事業性貸出全体では増加しました。
 ・消費性貸出は、非対面チャネルの活用などにより、お客さまの利便性向上に積極的に取り組んだことを主因に増加しました。
 ○譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同期比578億円増加し、8兆7,244億円となりました。

	2024年6月末		2023年6月末		2024年3月末
		2023年6月末比			
貸出金残高	54,296	1,410	52,886		54,551
県内事業性貸出残高	16,778	△131	16,909		17,098
うち中小企業向け貸出残高	13,677	△346	14,023		14,056
県外事業性貸出残高	15,039	2,200	12,839		14,775
うち中小企業向け貸出残高	5,669	323	5,346		5,779
消費性貸出残高	14,951	425	14,526		14,877
公金貸出残高	7,527	△1,083	8,610		7,800
預金等残高	87,244	578	86,666		87,459
うち県内預金等残高	85,404	599	84,805		85,619
うち個人預金等残高	57,864	718	57,146		57,171

(注) 預金等残高=預金+譲渡性預金

5. 投資信託・公共債等預かり資産残高

第四北越銀行 単体

○預かり資産残高は前年同期比1,069億円増加し、1兆114億円となりました。
 公共債は22億円減少しましたが、投資信託は177億円、保険は915億円それぞれ増加しました。

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

	2024年6月末	2023年6月末比	2023年6月末	2024年3月末
	預かり資産残高	10,114	1,069	9,045
投資信託	2,026	177	1,849	1,944
公共債	683	△ 22	705	690
保険	7,405	915	6,490	7,043
(参考) 第四北越証券	5,199	751	4,448	5,044

以 上